



広報

# 有住小

# 3

2012

# 卒業業

## 新たな旅立ち

3/16 有住小学校卒業式

6年間お世話になった学校を卒業。  
今までの思い出と喜びをかみしめ  
そして新たな旅立ちの希望に向けて……

No.630

## 3月の主な内容

- P 2 施政方針演述
- P 8 震災から1年
- P12 まちのホットな話題
- P18 INFORMATION ～暮らしの情報～
- P 6 中心地域活性化構想
- P11 介護保険事業計画を策定
- P16 3月議会定例会
- P19 暮らしに役立つ4月のカレンダー





第4回住田町議会定例会が2月29日から3月12日まで開かれ、初日の施政方針演述で多田欣一町長は「平成24年度は町総合計画後期基本計画のスタートとなる年。震災で得た経験や教訓を糧に協働の町づくりを推進していきます」と所信表明しました。施政方針演述の内容をお知らせします。

# 震災の経験や教訓を糧に「協働の町づくり」



消防出初式

広報すみた 平成24年3月25日 (2)

■はじめに  
第4回住田町議会定例会が開会されるにあたり、所信の一端を申し上げます。

野田総理大臣は、通常国会冒頭の施政方針演説において、平成24年を「日本再生元年」と位置付け、野田内閣のやらなければならぬことの一つとして大震災からの復旧・復興を挙げています。

国では復興交付金および復興特区制度を復旧、復興のための施策の両輪と位置付けており、本町においても活用を検討し被災地の復興とともに本町が目指す地域社会の創造に取り組んでまいりたいと考えています。

## ■町総合計画

平成24年度は、住田町総合計画後期基本計画の初年度の年となります。後期5カ年につきましても、プロジェクト、部門別計画、地区別計画において新しい目標を定めて、その達成に向けた施策を展開してまいります。

プロジェクトについては、「住田町の創造プロジェクト」として、人口増加、所得向上、生活満足度向上を目指し継続して取り組んでまいります。

## ■震災支援と

災害に強い町づくり  
東日本大震災から一年を迎えます。本町でも震災を教訓に非常時の備え



消防火災訓練

について必要性を改めて強く感じたところです。

総合計画後期基本計画では、「東日本大震災復旧・復興プロジェクト」を新たに加え、被災施設の復旧と町内に居住する被災者支援も含め、被災した隣接自治体へ引き続

特別会計につきましては、特定環境保全公共下水道整備事業の処理区域の見直しを行うなど、下水道事業特別会計において前年度より1603万円の増となっております。また、国民健康保険特別会計では、保険給付費の増にもない前年度より497万円の増となっております。

一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、64億4428万円で、前年度比2億5901万円、4.2%の増となります。

予算編成におきましては、住民ニーズの変化などに迅速かつ的確に対応するために「予算は行政の設計書」との認識に立って、財源の確保に最大限努力する一方、新たな着眼と柔軟な発想から必要に応じて、「今すべきこと」に取り組み、新規事業として予算計上しております。

今後も、職員一人ひとりが、直面している課題を的確に認識した上で、



震災からの復興・復旧をスローガンに

限られた資源の最適配分実現のため、コスト意識を持ち、その費用対効果を検証するとともに、必要最小限の経費で最大の効果を生むよう、一丸となって行財政運営に努めてまいります。

以下、総合計画基本構想の「産む」、「育て」、「守る」の基本姿勢に沿って平成24年度の町政運営の方針について申し上げます。

## ■「産む」

次世代の創出

### ▽新たな息吹の誕生を願います

新しい命の誕生に対し、安心して出産し育児ができるよう母子保健や子育てしやすい環境づくりに取り組んでまいります。

また、昨年に引き続き中学校卒業までの医療費無料制度をはじめとする子育て世代への支援、各種予防ワクチンの接種に



BCG接種

## ■「育てる」

人材の育成

### ▽教育関連施策の推進

児童生徒の学習意欲と学力の向上につきましては、各小中学校に児童生徒育成支援員などを配置し、学習および生活面における指導体制を充実してまいります。

学校給食につきましては、地元産食材の積極的な活用と安全で安心な給食の提供を図るとともに、米飯給食施設により、陸前高田市の小中学校および住田高校にも米飯を提供し施設の活用を図ってまいります。



米飯給食施設

(3) 平成24年3月25日 広報すみた

き人的支援などの後方支援に努めてまいります。また、役場新庁舎の建設に着手し、災害対策および後方支援の拠点施設として強化するとともに、現在、建物毎に分散している事務事業を一つの建物に集中させて、町民の皆さまの利便性の向上を図ってまいります。

さらに、「我が町だけ」のことはなく、広域災害に対する防災計画、防災体制のあり方についても検討してまいります。

## ■平成24年度予算案

地方交付税につきましては、極めて厳しい地方財政の現状および現下の経済情勢等を踏まえ、本来の役割である財源調整機能と財源保障機能が適切に発揮されるよう、地方交付税総額が前年度から811億円増額され総額17.5兆円となり、地域経済基盤強化と雇用対策を支援するための別枠加算のほか、児童虐待防止および消費者行政などに要する経費が拡充され

社会教育施設につきましては、下有住地区公民館を建設します。地区における生涯学習の推進拠点とし、体育施設につきましては、運動公園に防球ネットを設置し、利用者などの安全を確保するとともに、沿岸被災地の児童生徒などのスポーツ活動を支援してまいります。中高一貫教育につきましては、災害復興における国・県の動向を注視しながら、住田高校の存続を中山間地域における中等教育の在り方として、提言活動を継続してまいります。

産業の振興

農業を振興します

農業の担い手育成対策として、新規就農者農業研修支援、生活支援制度の継続、ネットワークづくりによる情報交換、相互研鑽できる環境づくりを支援するとともに、主要型農家の経営安定支援とリーダー育成に努めてまいります。

また、地域の特性を生かした生産振興を進めるとともに、引き続き、安全安心農業を推進してまいります。

農業振興協議会が取り組む「農商工連携による住田農業振興プロジェクト」の最終年となることから、今まで検討してきたものをより具体的に見える形としてまいります。

また、農商工連携を契機とした、売れる商品づくり、喜んでもらえる食づくりを進め、農産物や山菜などの生産拡大を促し、観光PRと併せて情報発信してまいります。



産業まつりにおける農産物販売

林業を振興します

森林・林業日本一を目指し、核となる木工団地の経営の安定化を最優先課題として取り組みつつ、木材流通システムの充実を図るとともに、森林認証制度や木質バイオマス、J・VER制度など環境に配慮した林業施策を展開してまいります。

また、森林経営計画の策定をすすめ、林地の集約化による施業の効率化を推進し生産性の向上を目指すとともに、森林整備、木材生産の促進に努め、持続可能な森林づくりを図ってまいります。

商工業を振興します

地域における産業の活性化を図るため、商工会をはじめとする関係機関団体との連携を強化し、知恵を出し合いながら農商工の連携、林業との連携、企業誘致、雇用の場の創出に取り組んでまいります。

また、中心地域に人の賑わいを取り戻すプロジェクトに沿った具体策を町民の皆さまと一緒に形にしてまいります。

観光を振興します

岩手県とJR東日本との協働による「いわてディスプレイネーションキャンペーン」が4月から6月まで開催されるにあたり、世界遺産に登録されました平泉文化とゆかりのある本町の砂金が注目されており、旅行会社によって住田町民俗資料館見学と砂金採り体験ツアー商品の企画が進められております。

これを契機に、五葉山火縄銃鉄砲隊、種山ヶ原

散策体験などと結びつけたPRと受け入れ体制のさらなる整備を行ってまいります。

「守る」

環境の保護

環境施策の推進

ごみの減量化やリサイクルの推進など、町民の皆さま一人ひとりができる環境対策を推進してまいります。

また、継続して町内の主要箇所において放射線量の測定を実施し、状況を監視してまいります。



放射線量測定器

生活関連施設の整備

町道につきましては、継続事業路線、緊急度や

情報共有化の推進

住田テレビのスタジオ整備によりまして、緊急放送にも即応できることになりました。

また、町民の皆さまが自らの町づくりの活動などをPRする場として活用が可能となりましたので、行政情報と住民情報の発信の拠点として活用を進めてまいります。

公共交通対策の推進

昨年4月から本格運行を開始したコミュニティバスについては、利用者の意向を把握しながら、利便性の向上を図ってまいります。

また、広域バス路線については補助事業を継続し、維持してまいります。



コミュニティバス

地域安全対策の推進

交通防犯につきましては、東日本大震災以降交通量が増加していることから、これまで以上に関係機関・団体と連携し協力を得ながら、交通安全・防犯思想の一層の普及高揚を図り、交通死亡事故ゼロへの取り組み、飲酒運転の撲滅に重点を置き、交通事故、犯罪のない安心安全なまちづくりに努めてまいります。

消防防災につきましては、町民皆様の身体・生命および財産を守り、安心してずっと暮らせるまちづくりを進めるため、防火・防災思想の向上を図りながら、震災時の教訓を生かし、地域の消防・防災力の一層の充実強化に努めます。

保健福祉の充実

子どもから高齢者まで、健やかに安心して暮らせるよう、各種健診、健康教育などの保健活動を一層推進してまいります。また、医療の要である住田地域診療センターを

はじめとする町内医療機関との連携を含めた地域医療の充実に努めてまいります。



総合健診

社会福祉の充実

子どもが健やかに育つための環境の整備に努めるとともに、障がい者が地域で自立した日常生活を営めるよう障害福祉サービスの適切な利用を促進してまいります。

また、高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう支援をしてまいります。

国民健康保険事業の運営

適正な医療給付と医療費の抑制、適正な賦課と取納率向上により、健全な国民健康保険事業の運営に努めてまいります。

介護保険事業の運営

介護予防を中心とした施策の充実に努め、高齢者や家族にとって利用しやすいサービスの提供を図るとともに、保険料の見直しを含めた新たな介護保険事業計画の初年度となりまして、その着実な実施により、安定した事業運営に努めてまいります。

協働によるまちづくり

町民の皆様と行政が一体となり、地区の特性を活かした特色ある地域づくりを推進するため、地区別計画や地域の活性化・課題解決などに取り組み団体の活動を引き続き、支援してまいります。



せたまいまちづくり委員会による風づくり教室

行財政改革の推進

行財政改革の目標は、質の高い行政サービスの提供と町民満足度の向上であると考えます。そのために、町民参画の機会を積極的に増やし、協働による行政システムを構築し、自立した行政経営の実現に努めてまいります。

結び

東日本大震災を経験し、地域の結びつきの重要性を再認識いたしました。震災で得た経験や教訓を糧に、地域づくりの原点である「協働」を進め、町民の皆様と行政が互いに協力し、自ら責任を持って動き、より良い地域社会の創造に努めていく所存であります。議員並びに町民の皆様にはより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。私の所信とさせていただきます。

# 中心地域の活性化に向けて構想を策定

## 平成28年度までに25事業の実施を検討

町ではこのたび、世田米中心地域の活性化に向けた構想を策定しました。中心地域には、町内外に誇れる文化的・歴史的資産や優れた景観、人材など多くの地域資源が現存していることから、その魅力を活かした町づくりを進めるとともに、交流人口の拡大や定住人口の増加による経済効果を図ることで、中心地域の活性化に結び付けようとするものです。構想の概要についてお知らせします。



- 構想の位置づけ  
町総合計画や過疎地域自立促進計画との整合性を図りながら中心地域の活性化を図るための指針とするもの
- 構想の期間  
平成23年度から平成28年度までの6カ年
- 構想の対象区域  
川向地区および世田米商店街周辺の地域

主要な施策	事業名	事業内容	実施エリア		
①住民の生活満足度の向上	役場庁舎の整備	① 新庁舎建設事業	来庁者の利便性に優れ、有事の際の防災拠点となる庁舎を建設する。庁舎内に町民が交流できるスペースを設置する。	川向	
		住環境の整備	② 町営住宅整備事業	自然景観と調和した町営住宅を建設する。	川向
			③ 宅地造成事業	持ち家の取得を促進するため、川向地区に宅地を整備する。	川向
	生活基盤の整備	④ 町道改良舗装事業	役場別当線の改良、世田米駅前線の歩道改修などを行う。	川向・商店街	
		⑤ 橋梁維持事業	今後の昭和橋のあり方を検討する。	-	
	健康増進・スポーツ拠点の充実	⑥ 運動公園改修事業	観客席の増設や防球ネットの設置などを行う。	川向	
		⑦ 社会体育館改修事業	屋根・外壁の塗装、アリーナ床の張り替えなどを行う。	川向	
		⑧ 健康の道づくり事業	川向地区に設定されているウォーキングコースを再整備する。	川向	
	住民交流拠点の整備	⑨ 住民交流拠点施設整備事業	空き家などを活用し、子どもから大人、町民から観光客まで、誰もが気軽に立ち寄ることができる憩いの場を整備する。施設内では、ギャラリーや交流サロンの開設、インフォメーションコーナー等を整備する。	商店街	
		⑩ 遊具公園整備事業	遊具施設や休憩施設を備えた公園を整備する。	川向	
②中心地域の魅力の向上	中心地域の賑わいを創出する環境の整備	⑪ 中心商店街空き店舗活用支援事業	空き店舗などを活用し、新たな出店を促すための支援制度を創設する。	商店街	
		⑫ 住民交流拠点施設整備事業	空き家などを活用し、子どもから大人、町民から観光客まで、誰もが気軽に立ち寄ることができる憩いの場を整備する。施設内では、ギャラリーや交流サロンの開設、インフォメーションコーナーなどを整備する。	商店街	
		⑬ 集客イベントの開催	商店街を主会場としたイベントを定期的で開催する（夏まつり、軽トラワゴン市など）。	商店街	
		⑭ 地産地消による食の提供推進事業	飲食店などにおいて、地産地消による食メニューを提供できる環境を整備する。	商店街	
	中心地域への誘導を促す環境の整備	⑮ 案内板設置事業	町の魅力をPRするとともに、中心地域への誘導、地域内の回遊を促す案内板を設置する。	川向・商店街	
		⑯ 商店街駐車場整備事業	住民交流拠点施設敷地内に駐車場を整備する	商店街	
		⑰ みどころマップ作成事業	中心地域内の見所や歴史文化、由来などを記した携帯用マップを作成するとともに、観光などを案内するガイドを設置する。	-	
		⑱ 商店街街路灯LED化事業	商店街に設置されている街路灯をLED化する。	商店街	
		自然公園の整備	⑲ 花の森公園整備事業（仮称）	愛宕公園から天照御祖神社までの一帯を、花や樹木などを鑑賞できるエリアとして整備する。	商店街
			⑳ 気仙川親水スペース整備事業	気仙川沿い親水スペースを設置する。	気仙川
③地域資源の有効活用	蔵並と昭和橋を活かした景観整備	㉑ 文学碑建立事業	柳田國男の文学碑を建立する。	未定	
		㉒ 世田米蔵並保全事業	蔵を保全するための支援制度を創設する。	気仙川	
		㉓ 世田米蔵並通り整備事業	世田米蔵並の通りの環境整備をする。	気仙川	
		㉔ 昭和橋周辺整備事業	昭和橋上流に蔵並を眺めるビューポイントを整備する。	気仙川	
	森林・林業の町をイメージさせる街並みづくり	㉕ 森林林業の街並み創出事業	樹木の植栽、木製ベンチ、木製案内・標識板、チェーンアート作品の設置などを行う。住宅改修に対する支援制度を創設する。	商店街	

### 中心地域の現状

中心地域は、古くから内陸と沿岸の接点、宿場町として栄えてきました。現在、3本の国道が通る交通の要衝である一方、世田米バイパスが開通後は、車社会の進展や他市町への購買流出などにより、世田米商店街の空洞化が課題となりました。町の観光は種山ヶ原や滝観洞が主であり、世田米中心地域においては歴史的資産や景観などが現存していても魅力を活かすできていない現状です。川向地区は、行政機関や事業所、体育施設、町営住宅群が立地し、国道が通る住民生活の利便性を担う地域です。東日本大震災以降は、体育施設を中心に町外からの利用も増え、大規模な大会も開催されるなど、新たな交流の動きが始まっています。

### ▽基本理念

○便利で暮らしの豊かさを実感できるまちづくり  
○人々が集い交流する賑わいあふれるまちづくり  
○歴史ある故郷の景観を未来に伝えるまちづくり

るための施策を重点的に実施します。  
③気仙川流域エリア  
川向、世田米商店街両エリアの回遊を高めるエリアとして、豊かな自然環境や優れた景観を維持・保全するための施策を重点的に実施します。

### ▽基本方針

### ▽施策の方向と主要施策

- ①安全安心で住民満足度の高い生活環境を整備します。
  - ②賑わいと回遊性のある環境を整備します。
  - ③訪れる人々に潤いと安らぎを与える環境を整備します。
- ①川向エリア  
生活の利便性や暮らしを豊かにする公益的なエリアとして、住民の生活満足度を向上させるための施策を重点的に実施します
- ②世田米商店街エリア  
中心地域の賑わいの根幹を形成するエリアとして、誘客や交流を促進す
- ①住民の生活満足度の向上  
・役場庁舎の整備  
・住環境の整備  
・生活基盤の整備  
・健康増進・スポーツ拠点の充実
- ②中心地域の魅力の向上  
・中心地域の賑わいを創出する環境の整備  
・中心地域への誘導を促す環境の整備
- ③地域資源の有効活用  
・自然公園の整備  
・蔵並と昭和橋を活かした景観整備  
・森林・林業の町をイメージさせる街並みづくり

注) 網掛けは、今後、実施を検討企画する事業

# 甚大な被害をもたらした 東日本大震災から1年



平成23年3月11日、14時46分に東北太平洋を中心に発生した東日本大震災では、1万9000人を超える死者、行方不明者を出しました。千年に一度といわれる過去最大級の大津波により隣接する大船渡市や陸前高田市では、甚大な被害が発生しました。

県が3月10日までに公表した気仙3市町の死者数は1830人となり、町内に住所を有する13人の方が含まれています。震災後、家を失った被災者が身を寄せた管内の避難所は、昨年8月までに全て閉鎖され、現在は4042戸の応急仮設住宅（住田型木造応急仮設住宅を含む）に、約9900人が暮らしています。町の応急仮設住宅3団地では、地域住民やNPO団体などによる支援を受けながら、自治会が組織されました。町では、継続して被災地への職員派遣による支援を行う一方、災害に強い町づくりに向け、防災行政無線の機能を充実するとともに、衛星携帯や災害用備蓄物資の整備などを進めてきました。震災から1年が経過し、今後は、新たに防災計画の策定や、自主防災組織の強化などが課題となっています。

## 全国からの支援により 支えられた仮設住宅

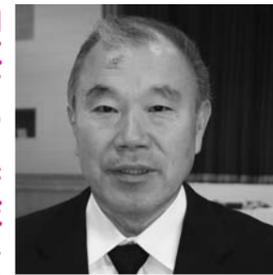


■自然エネルギーを基盤とする持続可能な社会づくりをめざす団体や企業で組織する「東日本大震災つながりぬくもりプロジェクト」により、太陽温水器やソーラー街灯が設置されました。



■森林保全団体モア・トゥリーズでは、「LIFE311」を立ち上げ、町が独自に建設した住田型木造応急仮設住宅の建設費用を支援しようと、全国に呼びかけ寄附を募っています。また、希望する各世帯にはペレットストーブが設置されました。

## 支え合う心と入居者の声



金野 純一さん（高瀬）  
下有住地区公民館長

### 自立するまで支えたい

「地元が支えなければ誰が支えるのか」と話すのは、下有住地区公民館長の金野純一さん。

金野さんは、旧下有住小学校跡地に63戸の応急仮設住宅が建設されたことを受け、地元の人間が入居者を支えなければならぬという使命を感じ支援を開始しました。

当初は、入居者によいように対処したらよいか試行錯誤しましたが、支援物資の配布から始まり、地元住民との交流会を企画。今では元役員職員であったノウハウを生かしながら入居者の相談などにも応じています。

金野さんは、「入居者が自立するまで支えていきたい」と話していました。

### 感謝でいっぱい

「木のぬくもりと、地元の人たちの温かさに触れ本当に幸せです」と話すのは、中上団地の住田型木造応急仮設住宅に入居する細谷一さん。

細谷さんは、震災により陸前高田市の自宅を失い、避難所生活をしていた時、昔の仕事で縁のあった下有住地区に仮設住宅が建設されることを知り、入居の募集に応募しました。

幸い家族は無事で、現在は、両親や弟と同居している細谷さんは、「人間は欲を言えばきりがなく、一生懸命支援してください。地域の方々や町の人たちに感謝しながら、復興に向け頑張りたい」と話していました。



細谷 一さん（中上）  
中上団地自治会事務局長

## 防災に強い町づくりに向けて



水野 覚さん（葉山）  
住田町消防団団長

### 震災から学ぶ

津波で竹駒駅まで飲み込まれたと聞いても信じられず、後日、その現場を目の当たりにした時は、言葉を失いました。

電気や携帯電話が使えず、また、ガソリンなどの燃料を確保しなければならぬ状況での消防活動は、過酷なものでした。被災地となった陸前高田市や大船渡市での捜索活動は、震災翌日から行っていました。危険となり合わせだったことから、私は「自分自身の命を第一に守り活動してもらいたい」と団員たちに伝えました。

もう一つは、今まで経験したことのない隣接する地域の津波被害に対し、住田町消防団がどのような関係が良いか考えさせられたことです。

捜索活動を行った団員の中には、がれきや釘を踏み、怪我をした団員もいました。今は、尽力いただいた団員たちには心から感謝するものです。今振り返れば、震災により学ぶべきものもありました。一つは住民の絆です。住田町のように近所の結び付きが強い地域は、安否確認が早く、避難行動も迅速であると感じました。

### ■23年度整備内容

- ・小型ポンプ整備
- ・消防ポンプ車整備
- ・防災用J-ALERT開始
- ・発電機の購入
- ・給水タンクの購入
- ・防災用広報車の購入
- ・備蓄の整備など



各分団に小型ポンプを整備



# 各地で津波犠牲者の冥福を祈る

## 町内でも有志により法要



3月11日、町生涯スポーツセンターで、地元住民有志による東日本大震災一周忌法要が営まれました。

法要には、下有住字高瀬の長桂寺など県曹洞宗青年会員寺院が協力し、町民や遺族など約100人が参列しました。

会場となった町生涯スポーツセンターは、震災後およそ2カ月間、陸前高田市の遗体安置所として使用された場所であり、僧侶による読経が流れる中、参列者一人ひとりが祭壇に白菊をささげて合掌し、津波犠牲者の冥福を祈りました。

法要の呼びかけを行った有志代表の金野純一下有住地区公民館長は、「今日が一つの区切りになればと思う。今後も仮設住宅入居者など住田から再起しようとしている人たちの手助けをしていきたい」と話していました。



陸前高田市での合同追悼式

## 陸前高田市を会場に合同追悼式

同日午後2時30分からは、岩手県と陸前高田市による合同追悼式が高田小学校のグラウンドで開催され、遺族など300人以上が参列しました。はじめに、政府主催の追悼式会場と結んで、大型スクリーンに野田佳彦総理大臣の式辞や天皇陛下のおことばが生中継で映し出されました。

この後、達増拓也県知事が「犠牲になられた方々のふるさとへの思いを受け継いでいきたい」、戸羽太陸前高田市長が



満席となった追悼式会場

「亡くなられた方のためにも陸前高田市の復興に向け全力で取り組んでいきたい」とそれぞれ式辞を述べました。来賓に続き、遺族代表が「生きようとする強い気持ちで、自分たちの未来をつくっていく。これからも精一杯生きていくことを誓います」と追悼の言葉を述べました。

その後、パリ在住の世界的なバイオリニスト、イブリー・ギトリスさんによるバイオリンの生演奏の中、献花が行われ、犠牲者への冥福を祈りました。

# 介護サービスの充実に向け 介護保険事業計画を策定

平成24年度から26年度までの第5期介護保険事業計画を策定しました。この計画は、介護保険制度や高齢者に関する保健福祉事業の円滑な実施のために、これまでの実績を基に今後の総合的な目標を定めたものです。

## 6つの基礎目標

- ① 特別養護老人ホームの移転改築を含む、介護サービス基盤の整備
- ② 介護サービスの質的向上
- ③ 介護予防の推進
- ④ 認知症高齢者支援対策の推進
- ⑤ 地域包括ケア体制の整備
- ⑥ 高齢者の積極的な社会参加

## 保険料の改定

介護保険事業の財源は、被保険者の保険料で半分を、残りを国と地方自治体が負担し、賄われています。

第5期介護保険事業計画では、町の人口減少に伴い、保険料を負担する被保険者人口が減少する一方で、介護を必要とする方やサービスを利用する量はほぼ横ばい状態になると推計しています。このような状況を受け、第5期介護保険事業計画期内の介護保険料を、下記の一覧表のとおり改定しました。



標準月額額は、4300円となり、第4期介護保険事業計画時の3800円と比較すると、500円増となっています。

なお、世帯の課税や所得状況により決定される所得段階については、従来のままの8段階の設定となっておりますので、ご理解ご協力をお願いします。

★問い合わせ  
保健福祉課 介護保険係  
☎46-3862 (直通)

所得段階	該当する方	介護保険料	
		保険料の割合	年額
第1段階	生活保護を受けている方、または、世帯全員の住民税が非課税で老齢福祉年金を受給している方	基準額×0.50	25,800円
第2段階	世帯全員の住民税が非課税で、本人の課税年金収入と合計所得金額の合計額が80万円以下の方	基準額×0.50	25,800円
第3段階	世帯全員の住民税が非課税で、第1・第2段階以外の方	基準額×0.75	38,700円
特例第4段階	第4段階に該当する方のうち、本人の課税年金収入と合計所得金額の合計額が80万円以下の方	基準額×0.90	46,440円
第4段階	本人の住民税が非課税で、同一世帯内に住民税課税者がいる方	基準額	51,600円
第5段階	本人に住民税が課税されており、本人の合計所得金額が80万円以下の方	基準額×1.10	56,760円
第6段階	本人に住民税が課税されており、本人の合計所得金額が80万円を超え200万円未満の方	基準額×1.20	61,920円
第7段階	本人に住民税が課税されており、本人の合計所得金額が200万円以上300万円未満の方	基準額×1.45	74,820円
第8段階	本人に住民税が課税されており、本人の合計所得金額が300万円以上の方	基準額×1.50	77,400円

※合計所得金額とは、収入額から必要経費相当額（収入の種類によって異なります）を控除した金額で、扶養控除などの所得控除をする前の額です。



▲多田町長から祝福を受ける菊池さん

**100歳を祝福**  
 3月17日、上有住字葉山の菊池タマヨさんが、100歳の誕生日を迎え、多田町長や紺野朋夫町社会福祉協議会長が訪問し長寿を祝いました。  
 菊池さんは、上有住字平沢に生まれ、若いころは、炭焼きや畑仕事に従事し、8人の子どもを育てました。今でも、話し方は明瞭活発で、毎日元気に過ごしています。  
 この日は、自宅に多くの家族や親せき、近所の住民らが集まるなか、昨年誕生したばかりの玄孫のわかちゃんもお祝いに駆け付け、菊池さんが満面の笑みで抱き上げると、周囲からは祝福の歓声が上がっていました。

**上品にひなまつり会**  
 3月2日、世田米、有住の両保育園で、ひなまつり会が行われました。  
 このうち、世田米保育園では、ホールにひな壇が飾られるなか、園児全員で「うれしいひなまつり」を元気よく合唱。その後、かわいらしい着物を身にまとった年長組の女の子たちが、覚えてきた作法でお茶を立てたり、さくら餅を振る舞うなどし、会に華を添えていました。  
 いつもは活発な女の子たちも、この日は上品に振る舞い、思い出深いひなまつりになりました。



▲着物を身にまとった年長組の園児たち



▲佐藤さんの講話に耳を傾ける生徒たち

**有中で防災講話**  
 3月8日、有住中学校（根田真江校長）で、防災講話が行われました。  
 講話は、東日本大震災から1年を迎えるにあたり、防災意識を高めようと企画されたもので、この日は住田分署の佐藤公也分署長補佐が講師として招かれました。  
 スクリーンに震災の状況を映し出す中で、佐藤さんが「災害では絶対大丈夫ということはない。自分の命は自分で守ることが大切」と話すと、生徒たちは真剣な表情で聞き入っていました。  
 2年生の紺野春香さんは、「今日学んだことを今後には生かしていきたい」と語っていました。

またもや全国最高の快挙!



▲大臣賞を受賞した生徒と指導にあたった先生たち

**13回目の大臣賞受賞**  
 第36回「全国児童・生徒木工工作コンクール」(日本木材青壮年団体連合会主催)で、世田米中学校(内海行英校長)の特設木工部による「深海くシーラカンス」が、中学校の部で最高となる農林水産大臣賞に輝きました。  
 作品は、同校をこの春卒業した遠藤理子さん、大村理香さん、横井歩さんの3人が、中学生生活の思い出にしたいと製作に取り組んだもので、シーラカンスのウロコに松ぼっくりの松かさを貼り合わせるなど、随所に工夫が凝らされていました。  
 受賞の報を受け、大村さんは、「大臣賞と聞いてびっくり。みんなでいい作品をつくるのができました」と笑顔で話し、製作の指導にあたった内海校長は、「粘り強く取り組んだ成果。ここまでよく頑張った」と生徒たちをたたえていました。  
 世田米中学校は、この受賞により、通算13回目の大臣賞を受賞する快挙となりました。



深海くシーラカンス



▲2市1町合同で自衛隊入隊予定者を激励

**入隊予定者を激励**  
 3月3日、松嶋家を会場に、気仙地区自衛隊入隊予定者激励会が開催されました。  
 激励会は、これまで2市1町それぞれで行われていましたが、震災の影響により合同での開催となりました。  
 今年気仙地区から入隊を予定するのは7人で、本町からは上有住字八日町の松田健豊さん(一関学院高校)も含まれています。  
 多くの関係者から激励を受けた入隊予定者たちは、「被災した人たちのために役立ちたい」などと決意表明し、自衛隊員として第一歩を踏み出しました。

祝! 卒業

町内の小中学校の卒業式の一コマを紹介します



有住小学校



世田米小学校



世田米中学校



有住中学校

皆さんからの町の話や情報をお寄せください。  
 お待ちしております。  
 町づくり推進課 広報担当  
 ☎ 46・2114  
 (内線223)



# おきなマナー通信

生涯学習に関する情報コーナー 住田町教育委員会

## わきあいあいと交流

巡回・交流スポーツ教室「レクリエーションポッチャ」が、2月から3月にかけて町内各地区で開催されました。

ポッチャとは、的となるボールにどれだけ多くのボールを近づけられるかを競うもので、カーリングのルールにも似ているものです。小さい子どもでも楽しめる簡単なスポーツですが、実はとても奥が深く、フラインプレーや珍プレーが続出。会場では一投毎に大きな歓声があがっていました。



子どもから高齢者までみんなで楽しみました



興味深い「金」の話を熱心に聴講

## 気仙の黄金を学ぶ

文化財ボランティア特別講座が3月13日、上有住地区公民館で開催されました。

これは、文化財ボランティアのスキルアップと、民俗資料館のガイド養成を兼ねて開催されたもので、産金遺跡研究会副会長の野村節三氏を講師に、町内の14人が参加しました。

講義では、気仙の産金の歴史や野尻金山などの産金遺跡の概要のほか、金の特性にも触れ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

# 地域住民活動情報

平成24年度

みんなでできる町づくり事業補助金

## 補助金申請団体募集

募集期間：3月26日（月）～4月25日（水）

町総合計画の基本姿勢である「安心して暮らすことのできる地域」を実現するため、地域課題解決などに取り組み町民の皆さんの活動を支援します。

### ▽対象団体

5人以上の住民組織で活動拠点が町内にあり、町内で活動している団体。

### ▽対象事業

- ①地域全体に寄与することを目的としている事業
- ②営利を目的としない事業
- ③地域の課題解決や安心して暮らせる地域づくりを目指した自由発想によるソフト事業など

▽対象経費  
講師謝金や旅費、原材料費など事業実施に必要なと認められる経費。

### ▽補助対象外

・国・県などの他の補助事業に該当するもの、または、過去に町が実施した町づくり事業補助金の交付を受けたものは除く。  
・団体や施設に係る運営費などは除く。

### ▽補助率・限度額

- 【補助率】  
Ⅱ新規団体：10分の10  
継続団体：  
（2年目）5分の4  
（3年目）4分の3
- 【補助限度額】  
Ⅱ1事業あたり30万円

### ▽審査会

申請者の提案説明による審査会を行います。審査会の結果を考慮して町長が補助金の交付決定をします。

### ▽申請書類

申請用紙は町づくり推進課に用意しています。※町のホームページからもダウンロードできます。

### ★問い合わせ

町づくり推進課  
企画調査係  
☎46・2114  
(内線223)



図書ボランティア「ま〜ぶる」による活動

## 冬の種山で元気いっぱい！



かまくら、じょうずにつくれたよ！

世田米保育園の「冬の森の保育園」が2月24日、種山ヶ原せらぎの広場で行われ、年長27人が参加。ソリあそびやかまくらづくり、アイスクリームづくりなどを楽しみ、元気いっぱい冬の種山を満喫しました。  
昼食後、一年間お世話になった森の案内人の方々と高校生ボランティアに、園児から「ありがとう」とプレゼントが手渡されました。この一年でぐっとたくましくなった園児たち。種山の雪が解ける頃には、きっと立派な小学一年生として学校に通っていることでしょう。

## 高齢者の学びいきいき！

本年度の高齢者教室は、住田分署職員による防災講話、警察署職員による防災・防犯講話、震災復興支援ボランティアとの交流など、震災・防災に関係するものを中心にさまざまな内容で実施されました。

2月から3月にかけて各地区で本年度最後の講座が開催され、終了後の閉講式では、一年間の学びを振り返るとともに、7割以上受講した方には修了証が手渡されました。参加者からは「学びは元気の秘訣です」との声も聞かれ、みんないきいきとしていました。



修了証を授与。一年間おつかれさまでした！

平成24年度

みんなでできる町づくり事業補助金

## 補助金審査委員募集

募集期間：3月26日（月）～4月25日（水）

上記補助金の審査委員を募集します。

▽募集人数  
4人

### ▽応募資格

- ①町内にお住まいの方
- ②健康で、地域活動に意欲のある方
- ③20歳以上70歳未満の方
- ※報酬などはありません。

### ▽任期

平成25年3月31日まで

### ▽職務内容

「平成24年度みんなでできる町づくり事業補助金」申請団体の提案説明による審査会での審査 ※募集の状況により審査会を複数回開催する場合があります。

### ▽審査内容

審査方法は、次の8項目による評価表での点数評価  
①公益性  
②先進性  
③発展性  
④実現可能性  
⑤自立性  
⑥熱意  
⑦事業成果の具体性  
⑧話題性  
(各項目5点満点)

### ▽審査日程

5月上旬予定（事業募集期間終了後）  
※審査結果を考慮し、補助金交付の決定をします。

### ★問い合わせ

町づくり推進課  
企画調査係  
☎46・2114  
(内線223)

# 3月議会定例会

3月定例会が2月29日から3月12日までの13日間の会期で開かれ、一般質問や条例の一部改正、一般会計の補正予算などが審議されました。この概要をお知らせします。

## 条例

▼東日本大震災復興基金条例を可決

東日本大震災復興基金の設置に伴い条例を定めました。

▼住田町税条例の一部を改正する条例を可決

地方税の臨時特例に関する法律及び地方税法の一部改正に伴い、たばこ税の税率を改正するほか、所要の改正をしました。

▼住田町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例を可決

水道使用料金の徴収方法について、所要の改正をしました。

▼介護保険条例の一部を改正する条例を可決

介護保険料を改正するため、所要の改正をしました。

▼特定公共賃貸住宅等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を可決

新築した定住促進集合住宅10戸の設置および賃貸について、所要の改正をしました。

▼住田町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を可決

公営住宅法の一部改正に伴い、所要の改正をしました。

▼住田町公民館設置条例の一部を改正する条例を可決

社会教育法の改正に伴い、所要の改正をしました。

▼住田町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例を可決

町内の小中学校に加え、新たに陸前高田市の小中学校および住田高校への米飯給食の実施に伴う、所要の改正をしました。

## 議決

▼住田町コミュニティパスの設置及び運行に関する条例の一部を改正する条例を可決

町コミュニティパスの運行経路及び運賃表などの変更に伴い、所要の改正をしました。

▼住田町防災行政無線（固定系）施設改修工事（屋外子局）の請負契約を締結する議案を可決

住田町防災行政無線（固定系）施設改修工事（屋外子局）の請負契約を株式会社日立国際電気東北支社としました。

▼住田町デイサービスセンターの指定管理者を指定することに関する議案を可決

町デイサービスセンターの指定管理者を社会福祉法人鳴瀬会としました。



▼高齢者生活福祉センターの指定管理者を指定することに関する議案を可決

高齢者生活福祉センターの指定管理者を社会福祉法人住田町社会福祉協議会としました。

▼種山ヶ原体験交流センターの指定管理者を指定することに関する議案を可決

種山ヶ原体験交流センターの指定管理者を住田観光開発株式会社としました。

▼農林水産物直売・食材供給施設の指定管理者を指定することに関する議案を可決

農林水産物直売・食材供給施設の指定管理者を住田観光開発株式会社としました。

## 人事

▼教育委員会の委員の任命に関する同意

多田茂さん、清水沢さんの任命に同意しました。

## 請願

▼公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願を採択

## 意見書

▼公的年金2・5%の引き下げに反対する意見書提出を可決

## 補正予算

平成23年度の一般会計、特別会計予算を補正し、次のとおりとなりました。

会計別	補正額	予算額	
一般会計（第6号）	2億4,350万3千円	50億6,466万6千円	
特別会計	国民健康保険（第3号）	△1,294万円	8億7,020万6千円
	簡易水道事業（第3号）	△635万9千円	1億9,659万6千円
	下水道事業（第3号）	△205万5千円	1億1,560万4千円
	介護保険（保険事業）（第4号）	344万円	7億1,080万6千円
	後期高齢者医療（第3号）	△392万6千円	6,522万3千円

※平成24年度予算の内容については、4月号でお知らせします。

## 平成24年度 奨学生の募集

### ■資格

- ①町内に住所を有する人の子弟で、高校または大学、大学院及び高校卒業以上を入学資格とする修業年限2年以上の専修学校に進学した人
- ②林業の担い手として就業するため、修業年限2年以上の専修学校および大学などに進学した人
- ③学業成績優秀、品行方正で身体強健な人
- ④学費の負担が困難と認められる人

### ■奨学資金の貸与額

- ▽奨学金月額
  - 高校：2万円
  - 大学・短大・専修学校等：4万5千円
- ▽一時金
  - 高校：5万円
  - 大学・短大・専修学校等：30万円

### ■募集人員

一般枠3人程度  
林業担い手枠1人

### ■提出書類

- 教育委員会で用紙を配布しています。
- ①貸与申請書
  - ②健康診断書
  - ③奨学生推薦調書
  - ④成績証明書（③と④は進学前の学校で発行したもの）
  - ⑤在学証明書
  - ⑥家族、保証人などの所得を証明するもの、または課税台帳閲覧などに関する委任状
  - ⑦意思確認書（林業担い手枠希望者のみ）

### ■申込期間

4月2日（月）～27日（金）

### ★問い合わせ

教育委員会 総務係  
☎46-3863  
(内線417)

## きこえと補聴器の相談

4月24日 10:00~12:00 住田町農林会館  
14:00~15:00 八日町集会所

認定補聴器専門店

認定補聴器専門店 岩手リオン 補聴器センター  
大船渡店：大船渡市盛町字町10-17  
☎0192-21-1252  
URL <http://www.iwaterion.co.jp>

プロパンガス・水道・合併浄化槽のことなら

## 多田商店

住田町世田米字世田米駅1  
☎46-2022 FAX46-2007

ロータスササキ 車のことならなんでも！

ササキ自動車工業(有)

バイク 自転車もOK

住田町世田米字赤畑57-1  
☎46-2041 FAX46-3117

出光興産株式会社特約店

## (有) 横澤儀商店

プロパンガス・ガソリン・軽油・灯油

世田米字川向34-3 ☎46-2483

# 4月の暮らしに役立つ カレンダー

町民の動き ( )内は前月比  
平成24年2月末日現在  
人口 6,289人 (-8)  
男 3,040人 (-6)  
女 3,249人 (-2)  
世帯数 2,199世帯 (3)

日	月	火	水	木	金	土
1	2			5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15		18	19	20	21	22
23	24	25	26	28		
29	30					

日程は都合により変更になる場合があります。

**住宅改修工事もエコポイント  
が利用できます!**  
断熱改修工事は「快適」「健康」  
「防音」「防犯」の効果がバツグン!  
**住田住宅産業(株)** ☎46-2465

岩手県住田町産  
**ありすぽーく**  
生産農場  
**有ありす畜産**  
TEL0192(48)2019  
R107 ありす畜産直売所 TEL0192(46)2286

## INFORMATION ～暮らしの情報～

### 国家公務員採用試験の お知らせ

国家公務員総合職および一般職(大学卒業程度)の採用試験を実施します。

- 【総合職】  
★受付期間  
・インターネット  
4月2日(月)～9日(月)  
・郵送・持参  
4月2日(月)～3日(火)  
★一次試験日  
4月29日(日)

- 【一般職】  
★受付期間  
・インターネット  
4月10日(火)～19日(木)  
・郵送・持参  
4月10日(火)～11日(水)  
★一次試験日  
6月17日(日)  
★問い合わせ  
人事院東北事務局  
第二課試験係  
☎022-221-2022

### 「広報すみた」の訂正

広報すみた2月号(P20)「とびだせちびっ子」の名前の漢字が誤っておりました。  
お詫びして訂正します。

誤	泉田 里緒奈さん
正	泉田 理緒菜さん

## 大型観光キャンペーン いわてDC開催!



期間: 4月～6月  
国内のJR6社と地方自治体などが協力して開催する国内最大規模の観光キャンペーン「いわてDC(デスティネーションキャンペーン)」が4月から6月までの3か月間開催されます。  
もてなしの心で観光客を出迎えましょう!

### 障がい者スポーツ大会 の開催

- 障がい者スポーツ大会が次のとおり開催されます。参加を希望される方は申し込みください。  
★日時 6月2日(土)  
★会場  
県営運動公園、ふれあいらんど岩手他  
★競技種目 陸上、アーチェリー、卓球、水泳、ボウリング、フライングディスク、STT  
★申込期限 4月18日(水)  
★申し込み・問い合わせ  
保健福祉課 福祉係  
☎46-3862(内線717)

### 「本音で語ろう県議会」 の開催

- 県民の皆さまと県議会議員との意見交換会を開催します。  
★日時 4月24日(火)  
18:30～20:30  
★会場  
平泉町役場  
★内容  
県議会に対する意見や提言を伺うもので、どなたでも参加できます。

- ★参加料 無料  
★参加申込 不要  
★問い合わせ  
岩手県議会事務局議事調査課  
☎019-629-6021

### 県営住宅入居者の 募集について

- 大船渡土木センターでは、管内にある県営住宅入居者の募集を次のとおり予定しています。  
なお、空き室が無いなどの理由により、募集を行わないこともあります。  
★定期募集の申込受付期間  
5月7日(月)～11日(金)  
7月2日(月)～6日(金)  
9月10日(月)～14日(金)  
11月12日(月)～16日(金)  
平成25年2月25日(月)  
～平成25年3月1日(金)  
★空室状況の確認  
空き室状況は、各申込受付期間の1週間前から確認できます。  
★問い合わせ  
(財)岩手県建築住宅センター  
☎0120-208-201  
☎019-623-4414  
大船渡土木センター 管理課  
☎27-9919(内線262)

### 工事などの入札結果

工事・業務名	契約年月日	契約額	契約業者
有住中学校壁面塗装工事	24年2月17日	3,832,500円	(有)村健塗装

**COOP** こんにちは!いわて生協です!  
お家でお買い物  
**個人宅配**  
はじめませんか  
☎0120-263-957(通話料無料)  
いわて生協けせん支部 大船渡市盛町字馬場23-5

地デジの準備はお済ですか?  
情報家電のことなら  
お任せください。  
**(有)ハーネット**  
http://www.a-hanet.co.jp  
住田町世田米字川向12-1  
☎46-2363 FAX49-1015

